

一宮市の舟橋一男さん

65歳・介護保険優先問題で提訴を決意

65歳になって、障害福祉制度から介護保険制度に移行するしくみにより、今までに無い医療費負担やサービス利用制限が発生し、新たに多大な苦勞が発生される障害者の方が全国に多数おられます。一宮市の舟橋さんもその一人で、先のニュースでも紹介させていただきましたが、自治体へ不服審査請求を行われていました。しかし、その後、納得いく回答が得られないため、現在、提訴の準備を進められています。以下、先の肢障協全国集会での舟橋さんの挨拶の一部を紹介させていただきます。

<65歳問題で提訴にあたって>…肢障協全国大会(9/28 於:名古屋)での舟橋さん挨拶より抜粋

「舟橋さん、今は私たち健康な者にとっても、厳しい時代になったけどね。あなたには義務があるの。何だと思う。それはね、生きることの喜びをみんなに伝えること。生きることの大切さをみんなに伝えること」と…。

これは6年ほど前に、長年お世話になっている歯科医の先生が治療しながら、何気なく一男に言われた言葉です。この言葉の意味を自分なりに咀嚼しながら生きてきました。

私自身65年も生きてきたのが不思議でなりません。重い障害がある故に、漠然とながら短命を覚悟していました。転んで頭をコンクリートにぶつけたり、食べ物や薬を誤嚥して救急車のお世話になったりと、何度「これでおしまい」と思ったか知れません。

65年を振り返ってみると、肩肘張って生きてきた訳でもなく、ただ普通に生きてこられたという、そのことだけで幸福だったと思います。

障害を持つ私が今まで生きてきて、幸福感に浸れるのは両親・兄弟をはじめ、私の周りの人すべてが普通に生きることを許してくれたからです。とりわけ妻の瑞枝さんが『普通に生きること、それが幸福なんだ』ということを教えてくれたことです。その瑞枝さんに感謝しつつ、これからも社会の中で二人して普通に生きていこうと思っていました。

そんなふう生きてきた私が、65歳になり障害者支援制度から介護制度への移行で、医療を受ける自由を多少なりとも制限され、医療費とは別の医療を受けるための負担が発生しました。65歳になれば介護制度への移行は分かっていたのですが、制度の差が大きいことに愕然としました。今は何とかしのいでも、日に日に障害が重度化していき、それに伴い自営業の収入も少なくなってきています。このままでは生活は破綻し、未来に希望が持てないと考え、県と一宮市に不服審査請求をしましたが、私が望む回答はまだ得られていません。そして私は提訴することを決意しました。……

提訴にむけて、第1回弁護士会議開かれる

10月15日、愛知障害者センターで、舟橋さんの裁判にむけ、第1回弁護士会議が開催されました。弁護士さん14名、支援団体から8名、家族関係者7名の計29名で、概ね以下の事が話し合われました。

- ◆体制
- 事務局長 高森裕司弁護士 (名古屋南部法律事務所)
- 事務局長 岡本浩明弁護士 (岐阜合同法律事務所)
- 同 堀江哲史弁護士 (名古屋第一法律事務所)

- ◆訴状骨子～次回の会議で議論
- ◆障害者制度概論について日本福祉大学の木全先生講義
- ◆舟橋さんの二次障害の状況等の聞き取り等

- ◆11月27日
- 午後4時から岡山・浅田さん口頭弁論に矢崎暁子弁護士傍聴
- ◆提訴日～平成26年1月27日頃
- ◆行政訴訟なので名古屋地裁へ提訴予定、自立支援訴訟団との共同など検討、基本合意をどうするか等今後検討する
- ◆支援する会として、会長に佐野正純氏依頼(後日内諾を得た)
- 事務局長に水谷龍雄氏(後日内諾を得た)



▲10/15 第1回弁護士会議(上) 舟橋さんご夫婦(下)

きそがわ福祉会だより

地域の中で

2013年11月15日発行 No.86

ともに育つ施設めぐりして

水鉄砲で的当てゲーム



第二きそがわ作業所

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

- ★ 法人本部 〒493-0007 愛知県一宮市木曾川町外割田字城跡71-5
TEL 0586(86)3960 FAX 0586(86)3937
- ★ 障害福祉サービス事業(きそがわ作業所) <生活介護・就労継続支援B型>
- ★ 障害福祉サービス事業<生活介護>・障害児通所支援事業<児童発達支援事業>(ゆうゆう)
- ★ 日中一時支援事業(きそがわ作業所)
〒493-0007 愛知県一宮市木曾川町外割田字西郷西151
TEL 0586(86)3763・3905 FAX 0586(87)7194
- ★ 相談支援事業(相談支援センター夢うさぎ) TEL 0586(86)4003 FAX 0586(87)7195
- ★ 障害福祉サービス事業(黒田ドリーム作業所) <生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援>
〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12-1
TEL 0586(86)3111 FAX 0586(86)1161
(cafe KURODA) 〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字中野黒120 TEL/FAX 0586(87)1932
- ★ 障害福祉サービス事業(ふたばドリーム作業所) <就労継続支援B型・就労移行支援>
〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り11-1
TEL 0586(64)7378 FAX 0586(86)1161
- ★ 障害福祉サービス事業(第二きそがわ作業所) <生活介護・就労継続支援B型>
〒493-0004 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字大縄場三ノ切65
TEL 0586(84)1102 FAX 0586(84)1080
- ★ 障害福祉サービス事業(フラワー玉の井) <居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護>
- ★ 移動支援事業(フラワー玉の井)
- ★ 障害福祉サービス事業(玉の井ホーム) <ケアホーム> <短期入所> (玉の井第一、第二、第三ホーム)
〒493-0004 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字大縄場三ノ切21-1 TEL 0586(86)7541 FAX 0586(86)7514
〒493-0004 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字大縄場三ノ切66-1(第三ホームのみ)
- ★ 障害福祉サービス事業(ぬくもりホーム) <ケアホーム>
〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字北宿一ノ切117 (北宿ホーム) TEL/FAX 0586(87)8680
〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字七ノ通47-2 (ぬくもりホーム) TEL/FAX 0586(86)1630
- ★ 障害福祉サービス事業(北方ホーム) <ケアホーム> <短期入所>
〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東本郷20-1 (第一北方ホーム) TEL/FAX 0586(86)0737
〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東本郷下155 (第二北方ホーム) TEL/FAX 0586(87)2773
〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東本郷下155-1 (第三北方ホーム) TEL/FAX 0586(87)1716



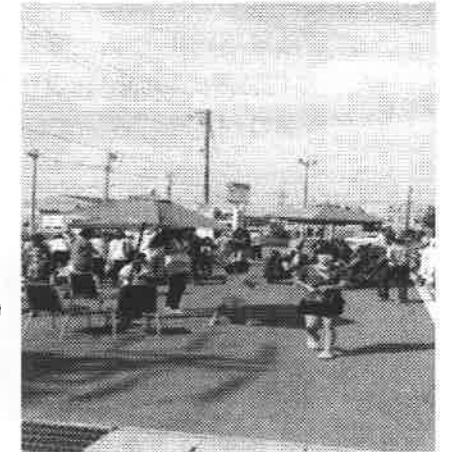
いちのみや福祉バザー

9月22日 アピタ木曾川店
駐車で開催

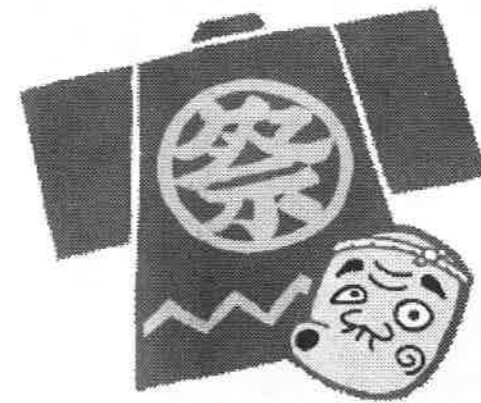
毎年、アピタ木曾川店様の協力を得て、地元一宮市内の複数の福祉団体が集まって行う「合同福祉バザー」が、今年から「いちのみや福祉バザー」と名前を変えて生まれ変わりました。名前だけでなく、広告や出店内容等も実行委員会で見直されました。実行委員会には、きそがわ福祉会として参加しています。



バザー会場では、ご来場してくださったお客さんに先着で粗品を配布しました。また子どもさんや家族の方に向けて、わたがしを10円で販売する企画も行いました。



粗品配布は、開始20分で終了する程の盛況ぶりでした。わたがしコーナーには、常にご子どもさんたちの行列ができて賑わっていました。中には自分で、わたがしを作った楽しんで方々の姿も見られました。午前中を中心に、たくさんのお客さんで賑わい、各店舗の売り上げは上々だったようです。



ゆうゆう遊覧

ゆうゆうは9月5～6日に一泊旅行に行きました。

前日は雨で天候が心配されましたが、雨が降ることなく行くことができました。行先は、1日目に滋賀県の近江八幡。琵琶湖に入り湖水浴を楽しみました！



2日目は大津港から船に乗り、琵琶湖をクルージング！
日常では、体験できないようなことをする事ができ、さらに仲間、職員同士の信頼関係を深めることができました！☆



～8.30 招待行事～

一宮遊技業協同組合様、東海テレビ愛の鈴様のご厚意により南知多ビーチランドと地引網体験にご招待いただきました。

海からの涼しい風を受けながら、地引網の太い縄を力いっぱい引いたり、お肉たっぷりのバーベキューをワイワイと賑やかに楽しんだあと、迫力満点のイルカショーで“水しぶきのあいさつ”の歓迎を最前列で受ける仲間もいました。

一宮遊技業協同組合様、東海テレビ愛の鈴様、楽しい夏の思い出をプレゼントしていただきありがとうございました。



9月、一泊旅行に行ってきました

きそがわ 静岡へ
2F・3F

～1日目～
「はままつフルーツパーク」
に行ってきましたよ！

～2日目～
「うなぎパイファクトリー」
おみやげ買いました～♪

おひるごはんは
ホテルバイキング♪
おなかいっぱいでーす

ごはんを食べた後は
宴会でもいきました～



職員間の『現場交流会議』を行っています

きそがわ福祉会では、昨年度から法人事業計画に位置付けて、法人内の各事業所から職員が集まって、現場職員交流会議を開催しています。

昨年度は、勤続5年以内のグループと5年を超えるグループに分かれて交流会議を行いました。今年度は法人内での勤務経験が3年以内の職員(正規職員全体の約3分の1)での交流会を実施しています。内容としては、だいたい2ヵ月に1度のペースで、法人内の各事業所の見学をしたり、取組の交流をしたり、仕事の悩みの交流やケース検討をしたり、学習をする等を行っています。

この交流会議を通して、現場職員の実践の交流を進めつつ、職員共済会との連携による親睦行事の話も進められていたりしています。

きそがわ福祉会で勤めるようになった職員が、日々の実践と共に、様々な運動や経営の担い手として、きっちりと活躍していけるよう、この現場交流会議が、一つのきっかけとしていけたらいいなと思っています。

Café KURODA

9月5日、6日と一泊旅行へ行ってきました。

初日はユニバーサルスタジオジャパン、2日目はインスタントラーメン発明記念館と大阪を満喫してきました。前日の暴風雨の影響で翌日も雨が残るのではないかと急遽、予定の変更を考える職員の心配もよそに2日間とも雨に降られることもなく交流を深める事が出来ました。

USJ（ユニバーサルスタジオジャパン）に到着後はまず腹ごしらえです！個々にメイン料理を選び美味しくいただきました。

60分待ちのアトラクションの列にも頑張って並びました。爆音にびっくりしたり大声で笑ったり色々な表情の仲間達でした。

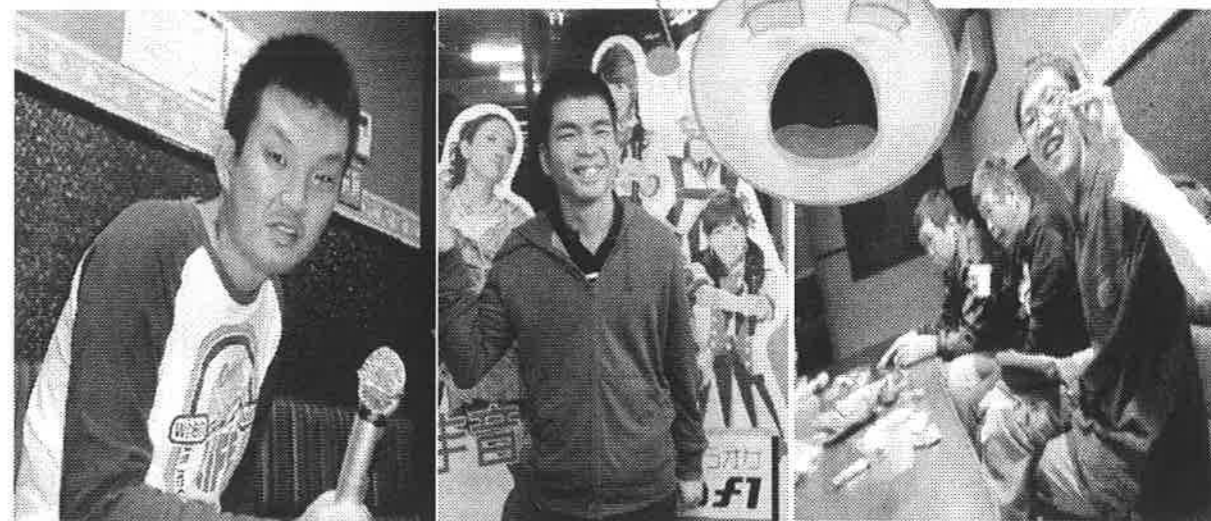


インスタントラーメン発明記念館では、インスタントラーメンの様々な情報が楽しく展示されていて、好きなスープと具を自由に選んでマイカップヌードルをお土産に持って帰ることが出来るなど、発明と発見の原点を体験してきました。

作業所内では見られない仲間の行動や笑顔で絆も深まり、これからも元気に活動していきたいと思います。



♪ほむカラオケ大会♪



☆カラオケしてきました！
秋の夜長、カラオケは個性がよく出ます♪自分の歌いたい曲を予約して、とにかく歌う仲間。最初しずかだけれど、自分の歌の順番になると張り切って歌ってくれる仲間。また、一心不乱にお菓子やジュースに手を伸ばす仲間(笑)みんな思い思いに楽しんでいました。選曲も最新の歌から演歌まで、まるで紅白歌合戦の様相です。石原裕次郎の『嵐を呼ぶ男』は拳を握りながら歌ってくれて恰好よかったです！ある部屋では「ぎやうりばみゆばみゆ」をみんなで振付しながら踊りました。
予約時間いっぱいまで歌い、みんな名残惜しそつにながらカラオケを終わりにしてホームへ。表情豊かなみんなの姿がとても印象的なイベントになりました！

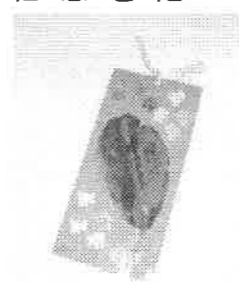
☆季節の変わり目にご注意！
今年の気候は本当に移り変わりが早く、勢いよく変わりますね。これからの季節は慎重に仲間の様子を確認していきます。まだまだ寒さが強まっています。ですが誰一人寒さに負けることなく元気に過ごしたいです。みなさまもどうか体調にはくれぐれもお気を付け下さい。

秋らしく・・・。

黒田ドリーム作業所本体（郵便局前）では、土曜日はいろいろな行事を行っています。最近行った事を紹介します。

まずは10月5日には、落ち葉を使ってしおりを作りました。前日に散歩に出かけた公園で仲間自身が拾い集めてきた落ち葉を色画用紙に貼り付けて、色鉛筆等で思い思いの模様描いて作りました。みんな真剣に作って、持ち帰りました。

続いて翌週12日には、焼き芋作りをしました。サツマイモに自分で新聞紙とアルミホイルを巻いて、バーベキューコンロの炭火でじっくり焼きました。焼き上がりに20分ほどかかったのですが、みんな『まだかなー』『早く食べたいっ！』と叫びながら出来上がりを待っていました。そして焼きあがったお芋を『熱ういっ』と言いながらみんなで外でおいしく頂きました。これからもいろいろと季節を感じられる行事ができるといいなと思います。



早く焼けるーっ!と投入



美味しくいただきました

